



人権イメージキャラクター
人KEN あゆみちゃん



中学生用 人権教室のご案内 (一例)



人権イメージキャラクター
人KEN まもる君

東京法務局
東京都人権擁護委員連合会

は し が き

法務省の人権擁護機関（法務局及び人権擁護委員組織体、以下「当機関」といいます。）では、日頃から、国民の皆様一人一人の人権意識を高め、人権への理解を深めていただくための様々な人権啓発活動を行っています。

このうち、特に小中学校で開催させていただいている「人権教室」につきましては、児童生徒が思いやりの心の大切さを学び、豊かな人権感覚を身に付ける効果が期待されるとして、これまでも多くの小中学校においてワークショップ形式等による参加型・体験型の教室を開催しているところです。また、最近では、特に学校公開日に合わせた「人権教室」の依頼も増えてきている傾向にあります。

当機関では、「人権教室」で取り扱うテーマにつきましても、多様化する様々な人権課題に応じて、いじめ等のこどもの人権課題のほか、高齢者、障害のある人、外国人、性的少数者（LGBT）の人権課題や、インターネット・SNSによる人権侵害など、内容の更なる充実に努めるとともに、今般、「人権教室」で使用する教材の一例を紹介する冊子を御用意させていただきました。

小中学校の関係者の皆様におかれましては、児童生徒に「人を思いやる心の大切さ」、「生命の尊さ」を学ぶ機会として、また、各学校の年間授業カリキュラムにおける総合的な学習の時間、あるいは道徳科の授業等の一環として、当機関が実施する「人権教室」を是非とも積極的かつ計画的に御活用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和2年7月

東京法務局人権擁護部長
東京都人権擁護委員連合会長

人権教室教材目次（中学校用）

番号	内容項目	道徳的価値	テーマ	タイトル	時間	掲載ページ
1	B-9	相互理解、寛容	人権一般	リスペクト アザース	50分	2
2	B-6	思いやり、感謝	人権一般	電車内に咲いた、笑顔の花	50分	4
3	D-19	生命の尊さ	いじめ	いじめをなくすために、今	50分	6
4	C-18	国際理解、国際貢献	外国人	本当の国際化とは	50分	8
5	B-9	相互理解、寛容	性的指向・性自認	みんなで考えるLGBTs① いろいろな性 ～好きになる性～	50分	10
6	B-8	友情、信頼	デートDV	STOP！デートDV	50分	12
7	C-12	社会参画、公共の精神	障害のある人	共に生きるということ	50分	14
8	B-6	思いやり、感謝	障害のある人	障害って何だろう？	50分	16
9	C-12	社会参画、公共の精神	高齢者	明日はわが身 老人介護と助け合い	50分	18
10	C-11	公正、公平、社会正義	ハンセン病	こんにちは金泰九さん ハンセン病問題から学んだこと	50分	20
11	D-19	生命の尊さ	人権一般	涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代に伝えて	50分	22
12	C-11	公正、公平、社会正義	東日本大震災	温かさを分け合って	50分	24
13	C-10	遵法精神、公德心	インターネット	考えよう！インターネットと人権	50分	26
14	C-10	遵法精神、公德心	インターネット	スマホ・ケータイ安全教室と 連携した人権教室	50分	28

※本パンフレットの内容はあくまで一例です。

また、お申込み方法の詳細は、本パンフレットの30ページに掲載しています。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

〈お問合せ先〉東京法務局人権擁護部第三課 TEL 03-5363-3065

番号	1030505010	対象年齢層 (学年)	中学生
----	------------	---------------	-----

カテゴリ 1 (大分類)	人権全般	カテゴリ 2 (小分類)	人権一般
タイトル	リスペクト アザース	難易度	初級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型、島型		
ねらい	他者との関わりの中で、自分自身の良さや個性を見出し、それを認め、伸ばしていこうとする心を育てる。		
教材の 内容	<p>中学生の作者が、アメリカと日本の対人関係を比較しながら、人権を尊重し合うために何が大切かを考えます。</p> <p>主人公の翔は、多様な人種の人々が暮らすサンディエゴで、幼少期から「リスペクト アザース (respect others/ 他者を尊重する)」という言葉に親しみ、無意識のうちに、他者との付き合い方の基本としていた。日本に来て、人間関係のトラブルや周りの人達との付き合い方を見て、「ここにはリスペクトアザースがない・・・」と嘆くが、同時に、改めてそれが大切な考え方であることを認識する。一方で、サンディエゴの友人の指摘によって、自分自身が、周囲の友人一人ひとりに対してリスペクトの心を持っていたらどうか・・・と省みる。</p> <p>※原作：平成 24 年度第 32 回全国中学生人権作文コンテスト 法務大臣賞 受賞作品</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「わたしたちの声 3人の物語／リスペクト アザース」、ワークシート</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、 黒板(ホワイトボード)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	8分	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員について 人権について 本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> 始まりの挨拶 人権擁護委員及び活動の紹介 「人権」について簡単なお話 本日のテーマ(「リスペクト／尊重」)について 	
展開	15分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「わたしたちの声 3人の物語／リスペクトアザース」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	6分	内容の振り返り① (記入)	<p>他者との関係で自己のあり方を考えるため、ワークシートを配布し、各自の考えを記入してもらう。</p> <p>〈ワークシートの内容例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> DVDを観て感じた「リスペクトアザース」について 今までの自分を振り返り、これからの自己のあり方をどのように考えるか 	
	18分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>グループに分かれ、ワークシートの問いに関して、自分が考えた意見を話し合う。その後、グループの代表者に発表してもらう。</p> <p>※発表された意見を尊重するように進行する。</p>	
まとめ	3分	内容のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 <ul style="list-style-type: none"> 他者の尊重とは 中学時代の感受性等について 他者との比較で自己を見つめ直す大切さ ◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1040605006	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ 1 (大分類)	人権全般	カテゴリ 2 (小分類)	人権一般
タイトル	電車内に咲いた、笑顔の花	難易度	初級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型、島型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と他者との違いを再確認することにより、他者への思いやりの心を育てる ・社会の一員として行動することで、個人でも周囲を変える力があることの気づきを促す 		
教材の内容	<p>中学生の主人公が、電車内で見かけたおばあさんの降車を手伝うために勇気を出して声かけをする。それにより、手伝ってくれた周囲の大人達、そしておばあさん本人が「笑顔の花」を咲かせることで、善意の連鎖に気付く。</p> <p>※原作：平成 25 年度第 33 回全国中学生人権作文コンテスト 法務事務次官賞 受賞作品</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「未来を拓く5つの扉／電車内に咲いた、笑顔の花」、ワークシート</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ (思いやり) について</p>	
展開	10分	人権啓発 DVD 鑑賞	<p>DVD「未来を拓く5つの扉／電車内に咲いた、笑顔の花」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	10分	内容の振り返り① (記入)	<p>他者との違いを考え、他者のために自分が行動することについて考えるため、ワークシートを配布し、各自の考えを記入してもらう。</p> <p>〈ワークシートの内容例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公が電車内でおばあさんの降車を手伝うことを決意したのはなぜか ・ドア付近の男性客をはじめ周囲の人たちがおばあさんと主人公の降車に協力してくれたのはなぜか ・社会を構成する一員として、私たち一人ひとりが意識すべきこととは何か 	
	15分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>グループに分かれ、ワークシートの問いに関して、自分が考えた意見を話し合う。その後、グループの代表者に発表してもらう。</p> <p>※発表された意見を尊重するように進行する。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・他者に関心を持ち、違いを理解することの大切さ ・社会の一員として、各自が考え、行動することの大切さ ◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1030205062	対象年齢層 (学年)	中学生
----	------------	---------------	-----

カテゴリ 1 (大分類)	こども	カテゴリ 2 (小分類)	いじめ
タイトル	いじめをなくすために、今	難易度	中級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型、島型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめは人権侵害であることを意識してもらう ・命はかけがえのない大切なものであることを理解してもらう 		
教材の 内容	<p>中学生の作者が、自らの体験を通して、命の大切さを知り、いじめを傍観することをやめた経験を振り返る。</p> <p>主人公の大輝は幼なじみの拓海くんが同級生の飯嶋くんをいじめているところを目撃する。それを父に打ち明けた際、「お前は自分に何ができるか、悩んでいる・・・父さんはそれが嬉しいよ」と父からエールを送られる。</p> <p>その後、いじめを止めることができなかった大輝は、いじめについて気に掛け、思い悩む。そんな中、主人公の父が突然亡くなってしまふ。</p> <p>父の死後、大輝は、「死」の悲しさ、「死」の意味の重さに気付き、いまままで見て見ぬ振りをしていたいじめについて、拓海くん「やめろよ」と言う。拓海くんが飯嶋くん「死ね」「消えろ」と言うのに対し、大輝は、その言葉の重さを問いかける。</p> <p>※原作：平成22年度第30回全国中学生人権作文コンテスト 法務事務次官賞 受賞作品</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「わたしたちの声 3人の物語／いじめをなくすために、今」、ワークシート</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ (いじめ) について</p>	
展開	15分	人権啓発 DVD 鑑賞	<p>DVD「わたしたちの声 3人の物語／いじめをなくすために、今」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	10分	内容の振り返り① (意見交換)	<p>周り意見交換し思考を深めるため、グループに分かれ、話し合いをしてもらう。</p> <p>〈話し合い例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめを発見したときにどのような行動をとればいいのか ・いじめをなくすために、いじめをさせないためにクラスで取り組んでいくこと 	
	15分	内容の振り返り② (発表)	<p>各グループでまとめた意見を代表者に発表してもらう。</p> <p>全グループの発表が終わった後、出た意見をまとめ、講評する。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・命の大切さ ・いじめの傍観をやめ、いじめを止めることによって大切な命を守る ◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1080205043	対象年齢層 (学年)	中学生
----	------------	---------------	-----

カテゴリ 1 (大分類)	外国人	カテゴリ 2 (小分類)	偏見、差別的取扱い
タイトル	本当の国際化とは	難易度	中級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	椅子なし型		
ねらい	一人ひとりが、外国人に対する態度について考えるとともに、文化等の違いや多様性を認めて尊重し、外国人に対する偏見や差別をなくしていくことの大切さを学習する。		
教材の 内容	<p>主人公はヘイトスピーチに関するニュースにショックを受け、2年前の出来事を思い出す。コンビニの店員に非はないにもかかわらず、説明しようとしていた外国人の店員に向かって、ある客が突然怒鳴り声をあげ、「外国人は黙っておけ。」と罵倒した。周りにいた客は無関心に店を出て行ったが、自分も傍観者であったことに気付く。そうした罵倒は、その店員にとって心の傷として一生残り続けるのではないかと考える。</p> <p>偏った価値観や、国籍などの情報にとらわれることなく、同じ人間としてその人の内面を捉え、互いの人権を尊重し合う社会を共に築くために、本当の国際化とは何かを考え、行動できる大人に成長していくことを決意する。</p> <p>※原作：平成 25 年度第 33 回全国中学生人権作文コンテスト 日本放送協会会長賞 受賞作品</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「未来を拓く5つの扉／本当の国際化とは」、ワークシート</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員について 人権について 	はじめに (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話	
展開	5分	本日のテーマの概要	外国人を排斥する言動が人権侵害だということを理解してもらうため、下記について説明する。 <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとり違って当たり前であること 外国人を排斥する言動が人権侵害であること ヘイトスピーチについて 	
	10分	人権啓発 DVD 鑑賞	DVD「未来を拓く5つの扉／本当の国際化とは」を上映する。 ※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。	
	15分	内容の振り返り	自分と同じ中学生の実体験を通して、身近な問題であることを意識させるため、下記のような発問をし、意見を発表してもらう。 〈発問例〉 <ul style="list-style-type: none"> 男性客は、店員が日本人だったとしても、同じようにどなっただろうか？ 男性客をとがめたり、店員をかばう人が誰もいなかった理由は？ 怒鳴られた店員が姿を見せなくなった理由は？ ※発表された考えを尊重するように進行する。	
まとめ	10分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介 人権教室終了後、ワークシートを配布し、各自記入してもらう。 〈ワークシート内容例〉 <ul style="list-style-type: none"> ・DVDを視聴して、思ったこと、考えたこと ・あなたが普段、身の回りで「人権」について考えたこと 	

番号	1150105082	対象年齢層 (学年)	中学生
----	------------	---------------	-----

カテゴリ 1 (大分類)	性的指向・性自認	カテゴリ 2 (小分類)	性的指向・性自認一般
タイトル	みんなで考える LGBT s ① いろいろな性～好きになる性～		難易度 中級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル等の当事者は、誤解や偏見に基づく周囲の心ない言動に深く傷ついていること、自己肯定感を育む機会が阻害されること、誰にも言えずにいること等の現状を理解し、人権尊重意識を養う。		
教材の 内容	異性を好きになる、同性を好きになる、両性を好きになる、あるいは誰にも恋愛感情を抱かないといった性的指向は、嗜好や志向とは異なる「指向」であり、本人が選択できるものではないと考えられている。 同性愛者（ゲイ、レズビアン）である生徒たちのドラマを見ながら、好きになる性の多様性について考える。		
備考	使用教材：DVD「みんなで考える LGBT s ①いろいろな性～好きになる性～」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、 黒板(ホワイトボード)、SOSミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	5分	・人権擁護委員について ・人権について	はじめに (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話	
展開	5分	本日のテーマの概要	現在の日本では非異性愛の性的指向についての肯定的な情報が不足しているため、今回視聴するDVDの概要として「LGBTs」の説明をする。	
	25分	人権啓発DVD鑑賞	DVD「みんなで考える LGBT s ①いろいろな性～好きになる性～」を上映する。 ※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。	
	5分	内容の振り返り① (記入)	性的少数者に対する偏見や差別的な考えを見直すために、ワークシートを配布し、各自の考えを記入してもらう。 〈ワークシートの内容例〉 ・DVDの登場人物である浩介や玲の友達が、「レズビアンやゲイはキモい」と発言したり、否定的なことを言う場面がありました。彼らはどうしてこういう発言をしてしまうのでしょうか。 ・浩介や玲の本当の気持ちとはどういったものなのでしょうか。 ・浩介や玲がカミングアウトした時どんな気持ちだったのでしょうか。	
	5分	内容の振り返り② (発表)	自分の意見を発表してもらい、異性愛と同様に同性愛や両性愛もあること、多数の者だけが正しいという思い込みは間違いであり、好きになる性(性的指向)は多様であることを気づかせる。 ※出た意見を板書する。 ※オネエ、ホモなどの不規則発言が出た場合は放置せず、人を傷つけるような言い方をしてはいけないことを講師は注意する。 また、当事者生徒の存在に留意する。	
まとめ	5分	本日のまとめ	◆ 本日の内容の総論 ◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介	

番号	1020305073	対象年齢層 (学年)	中学生
----	------------	---------------	-----

カテゴリ 1 (大分類)	人権全般	カテゴリ 2 (小分類)	人権一般
タイトル	STOP! デート DV	難易度	上級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	お互いの人権を尊重することの大切さに気付き、交際相手との間でDVの被害者又は加害者にならないように、自分の気持ちや相手の気持ちを考え、対等な関係を築くことの重要性を学ぶ。		
教材の内容	<p>〈パート①精神的暴力・経済的暴力〉 交際している裕一のことと悩んでいるミナ。裕一は、携帯を勝手に見たり、ミナが友人と会うのを妨害したり、貸したお金を返してくれません。裕一から「バカ、ブス」と言われ続けることで、ミナは自信を失っています。</p> <p>〈パート②身体的暴力〉 加奈は、真也と付き合い出して、だんだんと真也が怖くなりました。ささいなこと、突然暴力を振るう真也に怯え、言いなりになることでなんとか暴力から逃れようとしています。</p> <p>〈パート③性的暴力〉 試験勉強のため拓己が晴香の部屋にやってきました。拓己から性的な関係を迫られますが、晴香は拒否します。しかし強引に押し倒されてしまいます。「やめて」と訴える晴香の声も拓己には届きません。</p> <p>〈パート④解説〉 デートDVが起こった時、どうすればいいのか。被害者、加害者、被害者の友人、加害者の友人の立場に分けて、デートDVについての理解を深めます。</p>		
備考	使用教材：DVD「STOP! デートDV」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、 SOSミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員について 人権について 本日のテーマについて 	はじめに (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ (デートDV) について	
展開	17分	人権啓発 DVD 鑑賞 (ドラマパート)	DVD「STOP! デートDV」(ドラマパート①～③)を上映する。 ※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。	
	20分	内容の振り返り	デートDVとは何かを理解し、自分だったらどうするかを考えるため、ワークシートを配布し、各自の考えを記入してもらう。 〈ワークシートの内容例〉 ・あなたが恋人からデートDVを受けているならどうしますか? ・あなたが恋人にデートDVをしているのならどうしますか? ・あなたの友人がデートDVに悩んでいるならどうしますか?	
	5分	人権啓発 DVD 鑑賞 (解説パート)	DVD「STOP! デートDV」(解説パート)を上映する。 デートDVとなる原因を知り、被害者、加害者、被害者の友人、加害者の友人の立場に分けて、デートDVについての理解を深める。	
まとめ	3分	本日のまとめ	◆ 本日の内容の総論 ・他者を大切に、そして自分も大切にすること ・自分の気持ちを伝えることの大切さ ・自分の行動を見つめ直す ◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介	

番号	1050105017	対象年齢層 (学年)	中学生
----	------------	---------------	-----

カテゴリ 1 (大分類)	障害のある人	カテゴリ 2 (小分類)	障害のある人一般	
タイトル	共に生きるということ		難易度	初級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度	
学習形態 (教室の設定)	教室型			
ねらい	障害のある人を弱者、気の毒、かわいそうという考えに陥らず、障害を「個性」として捉え、共に生きていくという認識を持つことの重要性について理解する。			
教材の 内容	<p>主人公の藍が小学生の頃、人権学習の講師として来た視覚障害のある小林さんの話を聞いたことで、これまで自分が持っていた、障害のある人=弱者である、だから手助けしてあげなければならない、という考え方は、どこかで差別をしていたのかもしれないということに気付き、障害のある人に対する考え方が変わっていく。</p> <p>※原作：平成 25 年度第 33 回全国中学生人権作文コンテスト 法務事務次官賞 受賞作品</p>			
備考	<p>使用教材：DVD「わたしたちが伝えたい、大切なこと／共に生きるということ」、ワークシート</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、 SOS ミニレター</p>			

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	3分	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員について 人権について 本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> 始まりの挨拶 人権擁護委員及び活動の紹介 「人権」について簡単なお話 本日のテーマ(障害)について 	
展開	13分	本日のテーマの概要	<p>障害に関する基本的知識について、DVDを視聴する前に整理するため、下記のような発問をし、生徒2~3人に発表してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害にはどのようなものがあるか 障害のある人にとって、日常生活で困ること、不便なことは? 	
	7分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「わたしたちが伝えたい、大切なこと／共に生きるということ」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	22分	内容の振り返り	<p>ワークシートを配布し、各自の考えを記入してもらう。</p> <p>〈ワークシートの内容例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 小林さんの話を聞いて、藍やクラスメイトたちが学んだことはどのようなことか 障害のある人が日常生活の中で困ること、不便なことに対して、それぞれ解決策や、自分たちができることは何か 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・障害を「個性」として捉え、共に生きていくということについて ◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1050105000	対象年齢層 (学年)	中学生
----	------------	---------------	-----

カテゴリ 1 (大分類)	障害のある人	カテゴリ 2 (小分類)	障害のある人一般
タイトル	障害って何だろう？		難易度 中級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型、島型		
ねらい	私たちが普段よく耳にする「障害」という言葉について改めて考えてみることで、障害のある人を含めた全ての人々にとって住みよい社会とは何であるかについての気付きと理解を深め、自分と他者を尊重していこうとする心の醸成を図る。		
教材の 内容	<p>車椅子バスケットで活躍しているパラリンピアン根木慎志さんが、中学校の体育館で講演を行う。根木さんは、ユーモアのある語り口で参加者である中学生との距離を縮めるとともに、難しいスリーポイントシュートを披露した後、生徒たちと一緒に車椅子バスケットの試合を行う。</p> <p>生徒達は車椅子を操作しながらボールを扱う難しさを実感するとともに、車椅子を巧みに操作してシュートを決める根木さんをすごいと感じる。</p> <p>試合後、根木さんは生徒たちに、「車椅子バスケットが一番上手だった自分に障害があると思うか。」と問いかけ、生徒たちは「ない」と答える。</p> <p>次に、根木さんは生徒たちに、「ここを出て教室に行くためにみんなは階段を上り下りするけれども、僕にはできません。僕が教室に行くために困ってしまう障害とは何だと思うか。」と問いかけ、生徒たちは「階段」と答える。</p> <p>根木さんは、「『障害』とは自分たち障害者にあるのではなくて、階段のように社会が作り出しているものであり、社会の努力でなくすことができる。」と説明する。生徒たちは、皆で手伝えれば根木さんも教室にも行けること、障害がなくなることを理解する。私たちの身の回りにある障害として、出入口の段差、点字ブロックをふさぐように置かれた自転車、障害者用の駐車スペースに駐車する健常者、盲導犬の同伴を受け入れてくれないお店を例にあげ、障害者にとっての障害とは何かを問いかける。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「障害って何だろう?」、バリアフリー及びユニバーサルデザインを記載した掲示用用紙及び配布用資料</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、黒板(ホワイトボード)、A2用紙、マジック、付せん、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員について 人権について 本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> 始まりの挨拶 人権擁護委員及び活動の紹介 「人権」について簡単なお話 本日のテーマ(バリアフリー、ユニバーサルデザイン)について 	
展開	5分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「障害って何だろう?」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいらないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	15分	内容の振り返り①	<p>内容について理解を深めるために、下記のような発問をし、意見を発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 根木さんの話を聞いて、「障害」とは何だと思うか? 「施設の出入り口に段差があって車椅子の方は施設に入れない。」「点字ブロックの上に自転車が停まっていて視覚障害者が通れない。」「障害者用の駐車場に健常者が車を停める。」「盲導犬を連れて視覚障害者がお店に入るのを断られる。」といった障害のある人にとっての4つの障害(バリア)を解消するためには、どうしたらよいか? 	
	15分	内容の振り返り②	<p>障害のある人の視点に立って「障害(バリア)」を考え、他者の意見を聞くことで、「障害(バリア)」に対する更なる気付きと理解を深めるため、6人程度のグループに分かれ、ワークショップをしてもらう。ワークショップ用として、A2用紙、付せん、マジックを配布する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①各自で視覚障害のある人が生活する上での障害(バリア)を5つ以上考えて、それぞれ付せんに書き込む ②グループで付せんを見せ合い、似たような障害(バリア)ごとにまとめた上で、その解消方法をグループ内で検討する ③グループごとに意見として出てきたバリア例及びその解消方法について発表を行う 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<p>◆ 本日の内容の総論 バリアフリー、ユニバーサルデザインに関する資料を配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人権」とは「人間が人間らしく生きる権利」であり、誰もが生まれながらにして持っている権利である ・お互いを思いやる心、困っている人がいたら手を貸してあげようという気持ちが、お互いの「人権」を守っていく <p>◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介</p>	

番号	1040105008	対象年齢層 (学年)	中学生
----	------------	---------------	-----

カテゴリ 1 (大分類)	高齢者	カテゴリ 2 (小分類)	高齢者一般
タイトル	明日はわが身 老人介護と助け合い		難易度 上級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	島型		
ねらい	老人介護の問題は、中学生の年齢とはかけ離れた内容ではあるが、高齢化社会の問題の一つとして、介護者と要介護者の関係から引き起こる問題に気付かせながら、人権を尊重し合うために何が大切かを考える。		
教材の 内容	佐藤さん(75歳)は、健康ですこやかな老後をおくるために、毎日ジョギングを続けている元気なお年寄りである。ある日、その佐藤さんが突然倒れ、救急車で病院に運ばれた。幸い命に別状はなく医師の診断によって、脳卒中であることが判明し、後遺症が左半身マヒという形で残ってしまった。佐藤さん一家にとって、介護という重い負担が突然のしかかってきたのである。介護する者と受ける側の二人三脚の生活の第一歩が始まった。その後、病状も安定し、佐藤さんは退院したが、元の健康な身体ではなく、家族の介護は想像以上のものであり、嫁の幸子は日増しに介護に疲れ、不安を感じていった。		
備考	使用教材：DVD「明日はわが身ー老人介護と助け合いー」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、 SOSミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員について 人権について 本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> 始まりの挨拶 人権擁護委員及び活動の紹介 「人権」について簡単なお話 本日のテーマ(高齢化社会、老人介護)について 	
展開	15分	人権啓発 DVD 鑑賞	<p>6人程度のグループに分かれ、グループの中で、要介護者(老人)と介護者(お世話する人)の二つのパートに分け、その気持ちになってDVDを視聴する。 ※グループ分けは事前に準備しておく。</p> <p>DVD「明日はわが身ー老人介護と助け合いー」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	10分	内容の振り返り① (記入)	ワークシートを配布し、自分の意見を記入させる。	
	10分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>グループ内でそれぞれのパートの意見や気持ちを披露する。また、両方のパートの共通点を見出し、その後発表する。 (要介護者(老人)側と介護者(お世話する人)側のそれぞれの立場を理解する。)</p> <p>※発表された考えを尊重するように進行する。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・自分の人権を守り、他人の人権を尊重することの重要性について ・相手の気持ちを思いやり、推し量ることの大切さ ・相手を傷つけるような言動をしない、させない ◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1090205033	対象年齢層 (学年)	中学生
----	------------	---------------	-----

カテゴリ 1 (大分類)	HIV 感染者・ハンセン病患者等	カテゴリ 2 (小分類)	ハンセン病患者一般
タイトル	こんにちは金泰九さん ハンセン病問題から学んだこと		難易度 上級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型、島型		
ねらい	ハンセン病とその歴史について正しい知識を深めるとともに、様々な社会の差別や偏見について、情報に惑わされることなく、自ら考え、自ら判断して行動することの大切さを理解する。		
教材の 内容	<p>中学生の主人公が、ハンセン病の元患者である金さんとの交流を通じて、ハンセン病とはどのような病気なのかを正しく理解します。ハンセン病元患者の歩んできた悲しい歴史を知る中で、情報に惑わされることなく、正しく知って正しく行動することの大切さ、人に流されず自分で判断して行動することの大切さに気付きます。また、これらの学びの中で、自分の周りに差別や偏見で困っている人（いじめられている人）がいるのではないかと気づき、自分の行動を見つめ直します。</p> <p>※第33回全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞受賞作品「NO!と言える強い心をもつ」を映画化し、海外映画祭でも高い評価を得た作品です。(挿入歌:「涙そうそう」夏川りみ)</p>		
備考	<p>使用教材: DVD「こんにちは金泰九さん ハンセン病から学んだこと」、ワークシート</p> <p>使用物品: テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員について 人権について 本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> 始まりの挨拶 人権擁護委員及び活動の紹介 「人権」について簡単なお話 本日のテーマ (ハンセン病) について 	
展開	25分	人権啓発 DVD 鑑賞	<p>DVD「こんにちは金泰九さん ハンセン病から学んだこと」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	5分	内容の振り返り① (記入)	<p>ハンセン病はどのような病気なのかを正しく理解し、ハンセン病患者に対する偏見や差別はなぜ起こってしまったのかを考えるため、ワークシートに自分の考えを記入してもらう。</p> <p>〈ワークシートの内容例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ハンセン病患者はなぜ偏見を持たれたり、差別されてしまったのか 差別や偏見はどのように生まれるのか 差別や偏見を生まないために私たちにできることは何か 	
	10分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>差別や偏見を生まないために自分たちのできることについて考えるため、グループに分かれ、意見交換をしてもらう。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 <ul style="list-style-type: none"> 正しく知って正しく伝える 正しく知って正しく行動する NOと言える勇気をもつ ◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1010105031	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ 1 (大分類)	その他	カテゴリ 2 (小分類)	その他
タイトル	涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代に伝えて	難易度	上級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	語り部による戦争経験を真摯に受け止めることで、戦争によって失われるもの、いまある平和についての気付きと理解を深め、自分と他者を尊重していこうとする心の醸成を図る。		
教材の 内容	<p>「死に損ない。」 修学旅行で長崎を訪れていた中学3年生の生徒が、爆心地周辺を案内していた語り部の方に対して発した言葉である。なぜこのような心ない言葉が出てくるのか疑問に感じた中学3年生による人権作文の内容を映像化したもの。かつて日本が戦争するに至った背景、特攻隊員の話、残された家族の気持ち、原爆投下による被害、生きて故郷に戻れたのに周囲の態度が冷たかったことなどを改めて学び、こうした経験を経た一人である作者の曾祖父による「戦争はせんことたい。」という言葉の意味を考える。</p> <p>※第34回全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞受賞作品「戦争を次世代へ伝えて」を映画化した作品です。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代に伝えて」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、 SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員について 人権について 本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> 始まりの挨拶 人権擁護委員及び活動の紹介 「人権」について簡単なお話 本日のテーマ(戦争と人権)について 	
展開	28分	人権啓発 DVD 鑑賞	<p>ワークシートを配布した後、DVD「涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代に伝えて」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	5分	内容の振り返り① (記入)	<p>ワークシートに自分の考えを記入してもらう。</p> <p>〈ワークシートの内容例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 語り部に対する「死に損ない。」という言葉について、なぜこのような心ない言葉が出てきたと思うか 作者の曾祖父による戦争経験を踏まえ、戦争によってどのような人権が侵害されると思うか 作者の曾祖父による「戦争はせんことたい。」の言葉にはどのような想いが込められていると思うか 戦争経験を語り継ぐことの意味をどのように考えるか 	
	10分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>他者の意見から気付きと理解を深めるために、ワークシートの設問について自分の考えを発表してもらう。</p>	
まとめ	2分	本日のまとめ	<p>◆本日の内容の総論 発表内容を踏まえて、命の大切さを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 命を大切にすることは、人間が人間らしく生きる権利、生まれながらにして持つ権利、すなわち「人権」を大切にすること 自分を大切に、他者を思いやり、認めあう心によって、お互いの「人権」が守られていく <p>◆「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介</p>	

番号	1170305088	対象年齢層 (学年)	中学生
----	------------	---------------	-----

カテゴリ 1 (大分類)	東日本大震災に起因する人権問題	カテゴリ 2 (小分類)	避難者に対する偏見、 差別的取扱い
タイトル	温かさを分け合って	難易度	上級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型、椅子なし型		
ねらい	東日本大震災の発生に伴う様々な出来事を通じ、人の温かさに触れる一方で、「偏見」や「心ない言動」に接することで、人権に対する理解と尊重を深めようとする心を育てる。		
教材の 内容	<p>真島満雄は、東日本大震災で発生した福島原発事故により、故郷の福島県から伯父が住む埼玉県へ避難するため転校してきた。</p> <p>満雄は、放射能差別とでもいふべき風評被害のニュースや、福島に残っている父親からの話に悲しみを覚えると同時に、「震災」という出来事がたくさんの「人権」に関わっていることに気付く。</p> <p>放射能がうつると思われるのでは、と周りの目が怖くなり悩んでいる満雄に対し、クラスメイトの海斗や優花は、お互い分かり合おう、分かり合いたいと歩み寄っていく。</p> <p>満雄は、「震災」を通して、たくさんの人の支えと温かさを知ることとなる。</p> <p>※原作：平成23年度第31回全国中学生人権作文コンテスト 文部科学大臣奨励賞 受賞作品</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「わたしたちの声 3人の物語／温かさを分け合って」、ワークシート</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、 黒板(ホワイトボード)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員について 人権について 本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> 始まりの挨拶 人権擁護委員及び活動の紹介 「人権」について簡単なお話 本日のテーマ(福島原発事故の風評による「偏見」や「差別」)について 	
展開	15分	人権啓発 DVD 鑑賞	<p>ワークシートを配布した後、DVD「わたしたちの声 3人の物語／温かさを分け合って」を上映する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①チャプター1 「人権作文コンテスト概要とドラマ紹介」 ②チャプター2 「温かさを分け合って」 <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	15分	内容の振り返り	<p>内容について理解を深めるために、下記のような発問をし、意見を発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 満雄、海斗、優花は、放射線被ばくの風評による「偏見」や「差別」に対する思いや考え方について、それぞれどんな変化があったか。 風評による「偏見」や「差別」をなくすため、自分にできることは何か。 	
まとめ	10分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 人権に対する意識や考え方の変化について感想を聞く。 ◆ 本日の内容の総論 人権の尊重とは ◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1030105026	対象年齢層 (学年)	中学生
----	------------	---------------	-----

カテゴリ 1 (大分類)	インターネットによる人権侵害	カテゴリ 2 (小分類)	インターネットによる人権侵害一般
タイトル	考えよう！インターネットと人権	難易度	中級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	島型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる人権侵害の「被害者」、「加害者」にならないために気を付けることは何かを理解する ・インターネットによる人権侵害被害にあった場合の対処法や相談方法などを知る ・相手に対する思いやりや優しさをもつことの大切さを理解する 		
教材の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・資料「考えよう！インターネットと人権」(パワーポイントで上映) …インターネットの利便性と危険性の実例などを紹介 ・ワークシート1…インターネットを使用して良かったこと、困ったこと ・ワークシート2…インターネットによる人権問題の被害者、加害者にならないためには ・冊子「あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権」 …企画:法務省人権擁護局、制作:公益財団法人人権教育啓発推進センター 		
備考	使用教材：資料「考えよう！インターネットと人権」、ワークシート2種類、冊子「あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権」 使用物品：パソコン、プロジェクター及びスクリーン、SOS ミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	はじめに (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 資料「考えよう！インターネットと人権」(パワーポイント)を参照しながら、本日の内容を説明する。	
展開	10分	展開① (意見交換)	グループに分かれる。 ①グループワーク ワークシート1を使用し、インターネットを使って便利だったこと、困ったことについて、各グループにおいて意見交換をする。 ②グループ意見の発表 各グループにおいて出た意見を発表してもらい、インターネットの利便性、危険性について全体で共有する。	
	10分	パワーポイント 上映	資料「考えよう！インターネットと人権」(パワーポイント)を参照しながら、インターネットが引き起こす問題について、事例を基に説明する。	
	15分	展開② (意見交換)	①グループワーク ワークシート2を使用し、インターネットによる人権侵害の被害者、加害者にならないためにはどうすればよいか、各グループにおいて意見交換をする。 ②グループ意見の発表 各グループにおいて出た意見を発表してもらい、まとめる。また、冊子「あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権」13ページから16ページを参照し、被害者、加害者にならないための注意点について再確認する。	
まとめ	10分	本日のまとめ	◆本日の内容の総論 ・インターネットは便利なものだが、使い方によって人を傷つけることもある ・些細なできごとが、大変ないじめなどに発展することがある ・被害者、加害者にならないための心構え ・相手に対する思いやりや優しさをもつことの大切さ ・インターネットによる人権侵害にあった場合の対処方法や相談窓口について ◆「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介	

番号	1120105038	対象年齢層 (学年)	中学生
----	------------	---------------	-----

カテゴリ 1 (大分類)	インターネットによる人権侵害	カテゴリ 2 (小分類)	インターネットによる人権侵害一般
タイトル	スマホ・ケータイ安全教室と連携した人権教室		難易度 中級
時間	50分	対象人数 の目安	2学級80人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型、椅子なし型		
ねらい	株式会社 NTT ドコモ実施のスマホ・ケータイ安全教室と連携し、スマートフォンを中心に、トラブルを未然に防ぐための知識や心構えを学んでいただくとともに、具体的な事例をスライドで紹介しながら説明する。また、インターネットや SNS 上で人権侵害をされた際の法務局への相談方法について具体的に紹介する。		
教材の内容	①株式会社 NTT ドコモ実施 スライドや再現ドラマによるスマホ・ケータイ安全教室 (40分) ②法務局実施 インターネット上の人権侵害に関する講話 (10分)		
備考	使用教材：スライドデータ 使用物品：投影用機材、スクリーン (大型テレビ)、PC 用スピーカー、マイク、アンプ、SOS ミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	2分	スマホ・ケータイ安全教室の導入	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶 (自己紹介、本日の進め方について) スマホ、ケータイの主な使用場面について 	
展開	10分	〈SNS について〉 情報を公開するときに気を付けること <ul style="list-style-type: none"> 再現ドラマの上映 内容のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ SNS (X、Instagram、Facebook 等) を使用する上での身近に潜む危険性と気を付けたいこと 【自分や友達の情報】 <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報載せることの危険性 ・友だちの写真や動画を勝手に投稿すること 〈まとめ〉 SNS で気を付けること① 【姿の見えない人とのやりとり】 <ul style="list-style-type: none"> ～再現ドラマ：なりすまし 視聴 (3分32秒) ～ ・個人情報載せることの危険性 ・友だちの写真や動画を勝手に投稿すること 〈まとめ〉 SNS で気を付けること② 【軽はずみな投稿】 <ul style="list-style-type: none"> ・軽はずみな投稿による危険性 〈まとめ〉 SNS で気を付けること③ 	
	10分	<ul style="list-style-type: none"> 再現ドラマの上映 内容のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ コミュニケーションアプリを使用する上での危険性と気を付けたいこと ・文字だけのやりとりは気持ちが伝わりにくい ～再現ドラマ：友達を追い詰めるメッセージ 視聴 (4分38秒) ～ 〈まとめ〉 コミュニケーションアプリで気を付けること 	
	10分	<ul style="list-style-type: none"> 再現ドラマの上映 内容のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ スマホなどでの時間の使い方 ～再現ドラマ：チャットのストレス 視聴 (3分20秒) ～ 〈まとめ〉 使いすぎに気を付けること 	
	3分	トラブルにあわないためのサービスを紹介	<ul style="list-style-type: none"> ◆ トラブルにあわないために ・フィルタリングサービスについて 	
まとめ	5分	スマホ・ケータイ安全教室のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ スマホやケータイをスマートに使うルールやマナー ・購入サービス ・歩きスマホ、ながらケータイ ・スマホやケータイを使うときに覚えておいてほしいこと 	
	10分	法務局による講話	【法務局】 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上のトラブルの解決方法 ・法務局への相談方法について ・相談窓口 (電話相談、インターネット相談) の紹介 	



人権教室申込みの流れ



人権教室実施申込書

年 月 日

STEP 1 実施を希望する人権教室の選択



本パンフレットまたは東京法務局ホームページの中から、実施希望の人権教室を選択してください。
※「いじめ」、「LGBT」、「インターネット」など具体的なテーマをリクエストしてお申し込みいただいても構いません。その際はこちらから教材を提案させていただきます。

STEP 2 申込書の提出



FAX または郵送で申込書を提出してください。
※申込書は本パンフレット内または東京法務局ホームページ掲載のものをご利用いただき、実施希望日のおおよそ2か月前までにお申し込みいただきますようお願いいたします。

STEP 3 申込内容確認の連絡



申込書を受領後、申込み内容の確認のため、東京法務局担当者からお電話をさせていただきます。
※申込日から一週間を経過しても連絡がない場合は、恐れ入りますが、お電話にてお問合せください。

STEP 4 事前打合せ等



講師（人権擁護委員または東京法務局職員）が学校に伺い、当日の内容等について事前に打合せを行います。

STEP 5 当日

※講師派遣に係る旅費・謝金等の費用は必要ありません。

人権擁護委員とは

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱した民間の人たちです。現在、約14,000名の委員が全国の各市町村（東京都においては特別区を含む。）に配置され、人権相談や人権に関する理解を深めてもらうための活動等を行っています。



学 校 名 等	(フリガナ)		所在地 〒	
	学校長名	(フリガナ)	担当者名	(フリガナ)
連 絡 先	TEL		FAX	
	メール		連絡可能な時間帯	
希 望 内 容	主なテーマ ()			
受 講 人 数	<input type="checkbox"/> 小学生 (年生)	名	<input type="checkbox"/> 保護者	名
	<input type="checkbox"/> 中学生 (年生)	名	<input type="checkbox"/> 教 員	名
	<input type="checkbox"/> 高校生 (年生)	名	<input type="checkbox"/> その他 ()	名
	<input type="checkbox"/> 大学生 (年生)	名		
実 施 希 望 日 時	第1希望日時	月 日 (曜日)	時 分 ~	時 分
	第2希望日時	月 日 (曜日)	時 分 ~	時 分
	第3希望日時	月 日 (曜日)	時 分 ~	時 分
注) 日・祝・年末年始(12月29日~1月3日)は教室を開催しておりません。				
開 催 会 場	<input type="checkbox"/> 教室 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> その他 () ※申込みの学校の所在地と異なる場合は、その他の欄に御記入ください。			
使 用 機 器	※ご用意いただけるものにチェックしてください。 <input type="checkbox"/> パソコン (DVDドライブ利用可能) <input type="checkbox"/> 投影用機材プロジェクター <input type="checkbox"/> スクリーン <input type="checkbox"/> PC用スピーカー <input type="checkbox"/> マイク・アンプ <input type="checkbox"/> 電源ドラム・延長コード <input type="checkbox"/> 講師用机・椅子			
御 要 望 事 項				

※講師派遣に係る旅費・謝金等の費用は必要ありません。

※本申込書は、実施希望日の2か月前までに持参、郵送、電子メール又はFAXで提出してください。
ただし、日程等の事情により、ご希望に沿えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

【お申込み・お問合せ先】

〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目6番1号 四谷タワー13階
東京法務局人権擁護部第三課

TEL:03-5363-3065 FAX:03-5363-3076 E-mail:jinken01_tokyo_moj_bal@moj.go.jp

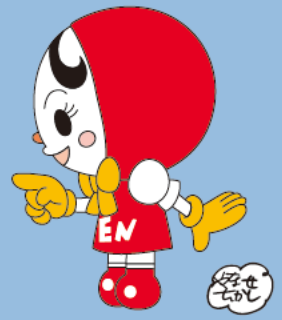
申込書を受領後、申込み内容の確認のため、東京法務局担当者からお電話させていただきます。

なお、申込日から1週間を経過しても連絡がない場合は、恐れ入りますがお電話にてお問い合わせください。



人権イメージキャラクター
人KEN まもる君

人権相談はこちらへ



人権イメージキャラクター
人KEN あゆみちゃん

人権についての全般的な相談はこちら

みんなの人権 110 番

この電話はおかけになった場所の最寄りの法務局・地方法務局につながります。

(全国共通)

ゼロゼロみんなのひゃくとおぼん

0570-003-110

子どもに関する相談はこちら

こどもの人権 110 番

学校でのいじめ、虐待などの相談に応じます。

(全国共通・通話料無料)

ゼロゼロなのひゃくとおぼん

0120-007-110

LINE 人権相談



友だち追加は
こちらから！

インターネット人権相談

インターネット人権相談

検索

クリック

<https://www.jinken.go.jp/>

外国語による人権相談

0570-090911

英語・中国語・韓国語・フィリピン語・ポルトガル語
ベトナム語・ネパール語・スペイン語・インドネシア語・タイ語